

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福岡県小郡市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	小郡市伝統文化活性化事業		
4 実施計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第5次小郡市総合振興計画（平成23年策定）や小郡市教育大綱（平成28年策定）を踏まえ、地域の伝統文化を活性化し、文化遺産を次世代へ継承することを目的とする事業。うち、文化遺産に関する内容は以下のとおり。</p> <p>「第2次小郡市文化行政基本構想」（平成23年策定）の理念『ふるさとの歴史と文化を活かしたまちづくりを目指して』に基づき、市内の多種多様な文化遺産を次世代に継承・発展させるため、まず市内全域の文化遺産悉皆調査を実施し、その成果を官民協働の新しいまちづくりに活かすことを目的とする。事業は、第一段階として平成24年度より平成29年度までの6年計画で市内文化遺産の悉皆調査を実施し、第二段階として平成30年度より平成33年度までの4年計画でその成果を活かした普及啓発事業を実施する。</p> <p>なお、平成29年度に実施を予定しているのは以下の内容。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市内の文化遺産の追加調査 2. 外部講師を招いた講演会 3. 各地域の文化祭等での展示会 4. 調査成果を活かした文化遺産巡りハイキング 5. 過去5年間の悉皆調査の成果をまとめた全体報告書の作成 			
6 実施体制			
<p>小郡市教育委員会文化財課が、本実施計画に係る全体の企画・調整・指導などを行う。また、補助事業は次の団体が行う。</p> <p>団体名：伝統文化実行委員会（委員長：磯部富士夫） 構成団体：特定非営利活動法人 小郡市の歴史を守る会、小郡市古賀区こども囲碁教室、小郡祇園太鼓保存育成会、小郡市伝統文化和装礼法親子教室、福岡県小郡歩みの会</p> <p>※平成24年度は小郡市教育委員会が別事業として、平成25・26年度は小郡市伝統文化活性化実行委員会が本事業として実施していたものを、平成27年度より伝統文化実行委員会が引き継ぎ、特定非営利活動法人 小郡市の歴史を守る会が中心となって実施している。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 33,495 千円	平成29年度申請額： 6,243 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>当事業では、まず地域の文化遺産の現状を把握するための悉皆調査を実施し、その中で再発見された貴重な文化財に関しては、“小郡地域遺産”として地域とともに活用と保存の方策を検討する。足元の貴重な文化遺産の存在を再認識することにより、市民の郷土に対する愛着は増し、市が進める協働のまちづくりに活かすことができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>当事業により実施した悉皆調査の成果を含んだ「小郡市歴史文化基本構想」を、平成29年度から平成31年度にかけて策定予定である。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	小郡市教育委員会文化財課文化財係		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	歴史・文化の保全・活用に対する市民アンケートの満足度			関連事業 :	①②③⑥	
目標値 1 :	平成 26 年度		65.7 %	⇒	平成 33 年度 70.0 %	
設定根拠 1 :	平成30年度より普及啓発に重点を置く事業を実施するため、通常より大きな上昇率を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く)					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	地域主催の文化遺産巡りの回数			関連事業 :	④	
目標値 2 :	平成 27 年度		2 回	⇒	平成 33 年度 4 回	
設定根拠 2 :	事業の周知により関心が高まっており、地域が主体的に活動を行うことも想定される					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産への来場者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 3 :	薩摩街道松崎宿を訪れる人の数			関連事業 :	⑤	
目標値 3 :	平成 27 年度		1,213 人	⇒	平成 33 年度 1,400 人	
設定根拠 3 :	歴史的雰囲気をよく残す松崎宿は、市内でも中心的に普及啓発活動を行うため					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

